

教材と知識を繋ぐ学び方の習得のきっかけに  
～「論理国語」における『現代評論キーワード講義』の活用～

◇はじめに

新学習指導要領の開始に伴い、当校では高校 1 年生の必修科目「現代の国語」の履修に続いて、2 年生で全員が「文学国語」を、3 年生では、文系進路を選択した生徒が「論理国語」、理系進路を選択した生徒は SSH 学校設定科目である「理系現代文」という独自の教材を用いた授業を展開しています。いずれの選択科目でも、自分の中に生まれた主張を支える道筋を辿らせる目的と、多くの班活動を通して、他者の視点についても学ぶ機会を多く設けることを柱としています。

特に高校 3 年生の「論理国語」では、学習指導要領の科目の目標「(2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。」に意識を向け、授業で文章の精読を通じて個人の考えを深めることと、他者と協働することの両軸を大切にしています。また、根拠をもって意見を述べる活動を繰り返し行うことで、自分の知識を実体験と結び付けて定着させ、実社会との関連を見出し、語や概念を運用する展開を心掛けています。

話し合いを多く取り入れた授業の運営の中で悩み始めたことは、生徒たちの興味関心の間口の狭さや、知識の偏りです。当校では、新学習指導要領開始以前から、現代文の授業では教科書に加えて、副読本として、速読トレーニングや受験用語彙集、時事用語集などを用いてきました。学習の糸口として小テスト等も実施していましたが、生徒の日常生活の中に知識を根付かせていくきっかけを探していました。授業内でも知識を活用する経験を積ませることが必須だと感じていたところに、『現代評論キーワード講義』が登場しました。



『現代評論キーワード講義』の書影

◇採用に至る経緯

『現代評論キーワード講義』を採用した理由は 2 つあります。

1 つは、今の時代に沿った新しい語が採用されていることです。「論理国語」の教科書は、各社とも比較的新しい概念に触れる文章が多く採用されました。また、授業で独自に実施している作文活動でも「抽象語と向き合う表現」という機会を設けようと、大学入試過去問題を利用していました。その結果、「論理国語」が開始された初年度は、かねて採用していた他社の受験用語彙集を用い、語彙の幅を網羅しきれない一年を過ごしていました。例えば、「スキーマ」「排外主義」「ポピュリズム」などです。

キーワード	掲載ページ	キーワード	掲載ページ
1. 現代	1	11. イラスト	11
2. 社会	2	12. 形而上学	12
3. 文化	3	13. 形而上学	13
4. 政治	4	14. 形而上学	14
5. 経済	5	15. 形而上学	15
6. 教育	6	16. 形而上学	16
7. 科学	7	17. 形而上学	17
8. 芸術	8	18. 形而上学	18
9. 倫理	9	19. 形而上学	19
10. 法律	10	20. 形而上学	20
21. 倫理	21	21. 倫理	21
22. 政治	22	22. 政治	22
23. 経済	23	23. 経済	23
24. 教育	24	24. 教育	24
25. 科学	25	25. 科学	25
26. 芸術	26	26. 芸術	26
27. 倫理	27	27. 倫理	27
28. 法律	28	28. 法律	28
29. 倫理	29	29. 倫理	29
30. 政治	30	30. 政治	30
31. 経済	31	31. 経済	31
32. 教育	32	32. 教育	32
33. 科学	33	33. 科学	33
34. 芸術	34	34. 芸術	34
35. 倫理	35	35. 倫理	35
36. 法律	36	36. 法律	36
37. 倫理	37	37. 倫理	37
38. 政治	38	38. 政治	38
39. 経済	39	39. 経済	39
40. 教育	40	40. 教育	40
41. 科学	41	41. 科学	41
42. 芸術	42	42. 芸術	42
43. 倫理	43	43. 倫理	43
44. 法律	44	44. 法律	44
45. 倫理	45	45. 倫理	45
46. 政治	46	46. 政治	46
47. 経済	47	47. 経済	47
48. 教育	48	48. 教育	48
49. 科学	49	49. 科学	49
50. 芸術	50	50. 芸術	50
51. 倫理	51	51. 倫理	51
52. 法律	52	52. 法律	52
53. 倫理	53	53. 倫理	53
54. 政治	54	54. 政治	54
55. 経済	55	55. 経済	55
56. 教育	56	56. 教育	56
57. 科学	57	57. 科学	57
58. 芸術	58	58. 芸術	58
59. 倫理	59	59. 倫理	59
60. 法律	60	60. 法律	60
61. 倫理	61	61. 倫理	61
62. 政治	62	62. 政治	62
63. 経済	63	63. 経済	63
64. 教育	64	64. 教育	64
65. 科学	65	65. 科学	65
66. 芸術	66	66. 芸術	66
67. 倫理	67	67. 倫理	67
68. 法律	68	68. 法律	68
69. 倫理	69	69. 倫理	69
70. 政治	70	70. 政治	70
71. 経済	71	71. 経済	71
72. 教育	72	72. 教育	72
73. 科学	73	73. 科学	73
74. 芸術	74	74. 芸術	74
75. 倫理	75	75. 倫理	75
76. 法律	76	76. 法律	76
77. 倫理	77	77. 倫理	77
78. 政治	78	78. 政治	78
79. 経済	79	79. 経済	79
80. 教育	80	80. 教育	80
81. 科学	81	81. 科学	81
82. 芸術	82	82. 芸術	82
83. 倫理	83	83. 倫理	83
84. 法律	84	84. 法律	84
85. 倫理	85	85. 倫理	85
86. 政治	86	86. 政治	86
87. 経済	87	87. 経済	87
88. 教育	88	88. 教育	88
89. 科学	89	89. 科学	89
90. 芸術	90	90. 芸術	90
91. 倫理	91	91. 倫理	91
92. 法律	92	92. 法律	92
93. 倫理	93	93. 倫理	93
94. 政治	94	94. 政治	94
95. 経済	95	95. 経済	95
96. 教育	96	96. 教育	96
97. 科学	97	97. 科学	97
98. 芸術	98	98. 芸術	98
99. 倫理	99	99. 倫理	99
100. 法律	100	100. 法律	100

本書に掲載されている 100 のキーワードの目次

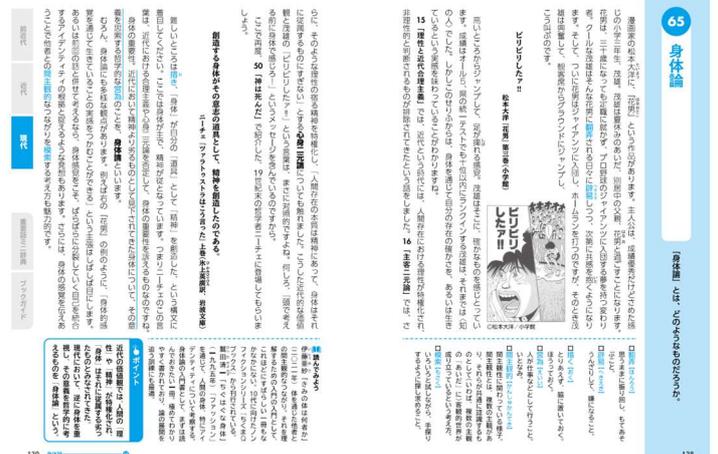
これまでは語彙集に掲載がない場合は授業の中で説明をしています。もちろん教わった基本の概念だけ手に入れていけば、あとは生徒の中で知識が紐づいていくかもしれません。インターネットで検索したり、生成AIに尋ねたりすれば大方の説明を入手できる時代でもあります。しかし検索する動作によって単語や概念そのものに飛びつくことができたとしても、連関が見えにくいままである、という状態が散見します。

これまで当校でも生徒たちが興味を持って語彙集を開き活用するところまでは促せずにいました。抽象概念として羅列された語句を運用することのハードルはなかなか高く、日常生活や生徒の中の体験との結びつけには至らないものです。時代に合った語が収録されている副読本があればよいな、と感じながら授業を運営していたところに、この本書が届きました。

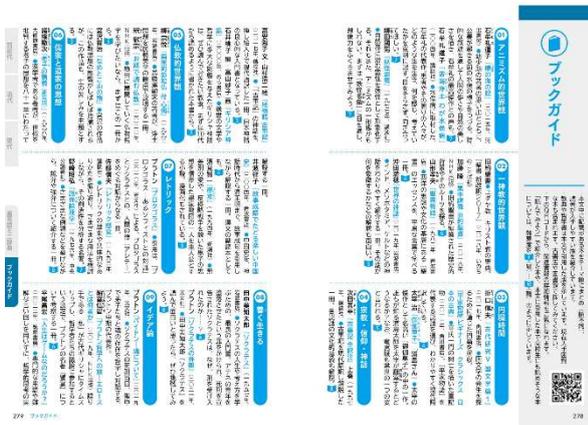
もう1つの採用理由は、読書案内としての働きが備わっていることです。当校では、探究学習の中や国語科の授業の中で、進路や興味関心に沿った読書を推奨しています。

また「論理国語」の授業においても図書館と連携し、「新書マラソン」と銘打って、新書を複数読みふける活動を取り入れていますので、『現代評論キーワード講義』の脚注や巻末に付与されているブックリストは魅力的でした。また、前半のキーワード100個に付与された、小池氏の文章はどれも読み手を惹きつける読み物としても面白いです。

例えば、「65 身体論」では、松本大洋の漫画から、ニーチェの引用、鷲田清一・伊藤亜紗の著書紹介まで、幅広く触れながら文章が展開します。



本書 p.138-p.139 「65 身体論」紙面



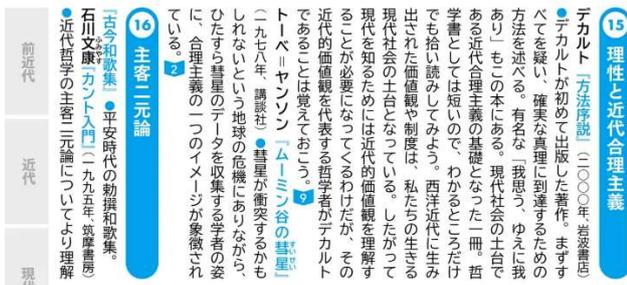
巻末に掲載のブックガイド

**ポイント**  
 近代的価値観では、人間の「理性」や「精神」が特権化され、「身体」はそれに従属する劣ったものとみなされてきた。現代において、逆に身体を重視し、その意義を哲学的に考えるものを「身体論」という。

伊藤亜紗「きみの体は何者が」(二〇二二年) 体を通じた他者との間主観的なつながり。それを理解するための入門の入門として、これほどにすばらしい一冊もなかなかない。10代に向けたノンフィクションシリーズ「ちくまのブックス」から刊行されている。鷲田清一「ちくまはく身体」(一九九五年)「ファッション」を通じて、人間の身体、特にアイデンティティについて考察する。身体論の入門書として、まずは読んでおきたい一冊。極めてわかりやすく書かれており、論の展開を追う訓練にも最適。

「65 身体論」紙面 左下拡大

紹介される作品のジャンルが多様なため、生徒の興味のアンテナにひっかかる作品があればよいと感じました。また、文章の途中で、『現代評論キーワード講義』の中の他のキーワードへ飛ぶことができます。関連語がわかりやすいことが語彙集として利用のしやすさに繋がりました。次に手に



ブックガイドの部分拡大

取るとよい本のヒントも得られる点も採用のポイントでした。

#### ◇授業での実践、利用

当校の「論理国語」の授業では、副読本を開いて読み、教科書教材との結びつけを、自分たちで考えさせる実践を繰り返しています。

授業は、おおまかに5つの段階を反復します。

- ①事前予習課題
- ②授業で教科書教材の概要を確認
- ③教材ごとに取り出した話題で話し合い
- ④反論反駁練習
- ⑤まとめ課題執筆

と、①以外は授業内で活動させ、高校3年生で4コマ配当してあることをフル活用した展開を行っています。

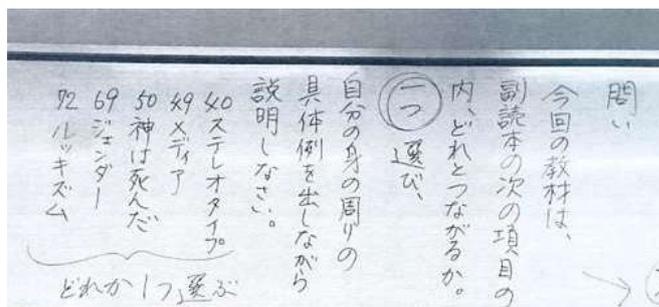
特に意識させていることは、教材で語られている抽象的な概念と、自分たちの具体的な体験を結びつける形で文章を書かせることです。高校卒業後、生徒たちが進むどの道においても、周囲と協働することと、自分の知識を俯瞰するメタ認知力は重要だと考え、このような授業展開を繰り返しています。

『現代評論キーワード講義』は、②③⑤の段階で活用しています。②では、教員から生徒へ、この教科書教材ではこの単語や概念は確認することが必須だという提示を行います。

③では、生徒同士が、教科書の教材本文の内容について話し合いながら、「このページに～と書いてあるから、教科書の教材と現代評論キーワード講義のこの考え方はつながるよ」という話型で話し合います。自分一人だけでは考えつかない角度の関連性を、他者から指摘されて気付くところがポイントです。話し合いでは、『現代評論キーワード講義』とは別に採用している時事問題が列挙された教材も併用し、教材の中で語られていることが、現実の社会の中ではどんなふうに見えてい

るかを議論することもあります。

⑤では、まとめ課題として、教員が『現代評論キーワード講義』の100個のキーワードの中から複数を指定し、そのキーワードと教科書教材にはどのような関係性が見られると考えるか、個人の意見をまとめさせます。



⑤まとめ課題執筆 に際しての指示の板書例

#### ◇「重要語ミニ辞典」の活用

授業内で『現代評論キーワード講義』を運用することに加え、語彙力の基礎トレーニングとして、巻末にある「重要語ミニ辞典」から400語ずつを試験範囲として、定期考査に出題しています。漢字の書き取りや英語の単語を覚えていく段取りと同じようなイメージです。本来であれば、語彙の深い理解のためには、前述したように、教材や事象との結びつけが大切です。しかし、本書を授業の中だけで使う本、と位置付けてしまうことを避けたいと考えました。授業で触れることができる教材の量には限りもあります。そこで、授業に加え、授業外でも生徒たちが本書を手取るように、定期考査への出題という仕掛けを作りました。

#### ◇生徒たちの反応

『現代評論キーワード講義』を採用した今年度、まだ年度半ばではありますが、授業終わりの生徒たちの様子が昨年度とは異なります。

それは、感想戦をしながら去っていく様子が見られるということです。「あのキーワードと繋げたの、先生が驚いてたね」「あのキーワードと繋がる

とは思わなかったなー」「○班の発表はちょっとこじつけだった、あの具体例とはつながらないよ」「進路に関係するところなのに知らないこと多かった、もう一回読むわ」など、口々に言いながら、『現代評論キーワード講義』をぱらぱらとめくりつつ会話する風景に複数回出会いました。また、「週末に受けた模試で出たんです！ 貨幣と物神論！ 共同主観！ 解けた！」と言って問題文を見せてくれる生徒もいました。

教科書の教材を読むこと、問題集を解くこと、過去問題に挑戦することでも、受験期の読書体験としては十分だという考え方もあろうかと思えます。しかし、覚えた知識を運用するところまで経験させることが、今後の生徒の学びに寄与すると私は感じています。

今後も、少しでも多くの文章に触れ、なるべく広範囲にわたる語彙に触れさせて、精読を重ねていくことで、生徒たちの視野を広げる経験を積みさせていけるように、教材を活用して授業を行っていきたいと考えています。

### 【プロフィール】

小林 香奈子 先生

(玉川学園中学部・高等部 国語科教諭)

2025年度は中学3年生と高校3年生の授業を担当し様々な教材読解に取り組む。校務分掌では探究学習の運営に従事。部活動は放送舞台技術部。趣味は映画鑑賞。